

び〜・さぽ

第1号
2021年
(令和3年) 7月

<発行> とっとり県美応援団

2025年春、『とっとりの未来を“つくる”美術館』が誕生



「とっとり県美応援団」は 鳥取県立美術館を県民としてサポートします

「ともに県立美術館の成功を！」

とっとり県美応援団 団長 佐伯健二



とっとり県美応援団は、県立美術館の建設場所が決まった直後、地元住民の盛り上がりの中で自然発生的に結成されました。

きっかけは、東京芸術大学元学長の澄川喜一先生の講演です。先生は「県立美術館が成功するかしないかは住民の熱意にかかっている」と話されました。みんなの心の中に、使命感と同時に、なにがしかの貢献ができることの喜び、楽しみの気持ちが湧き上がったのです。

どんな貢献やサポートができるか、澄川先生が館長を務めておられる「グラントワ」（鳥根県芸術文化センター）への視察を呼び掛けると、あっという間に40人近くが集まりました。来館者対応や広報、館内の美観装飾から敷地内の草取りなど、幅広い活動ができることを学びました。

応援団は会員100人を超える組織に成長し、4つの専門チームが活発に活動を展開中です。私たちは、仲間を県内全体に広げ、同じ思いを持つ方々と連携交流して県立美術館を成功させたいと願っています。

このたび、私たちの思いや活動を紹介する広報紙を発行することにしました。『できる人が、できるときに、できることを』がモットーです。ともに、県立美術館を成功させましょう。

鳥取県立美術館とは

TOTTORI PREFECTURAL
MUSEUM OF ART



鳥取県

コンセプト

『とっとりの未来を“つくる”美術館』

鳥取県の中心に位置する倉吉パークスクエアに隣接した場所ので約1万㎡の美術館が2025年春に誕生予定。

人々が集い・楽しみ・交流する拠点であり、幅広い分野の展覧会やプログラムの企画により「とっとりのアート」を発信していきます。

とっとり県美応援団 各チームの活動紹介

来館者対応チーム

<本年度の活動目標>

- ① 定期的(月一回)に研修や見学を行い、個々の力量アップを目指す
- ② 会員の一体感を高めるためにユニフォーム作成準備を始める

<来館者対応チームが予想しているボランティア活動>



外観イメージ:多くの人が集い賑わいのある空間に
© 横総会計事務所

館内誘導	展示解説	児童支援	ワークショップ
来館者に対しての ・館内案内サポート ・活動サポート	常設展での作品解説 催し内容の紹介 ・「ひろま」 ・「特別展示コーナー」	県内小学4年生に 対する対話型鑑賞活動 のサポート	定期的な体験活動が できるコーナーでの ・活動サポート ・活動の提案

令和2年度より「対話型鑑賞」についての研修を開始

<本年度の取り組み>

「地域の作家や施設を訪ねて交流を深めながら鑑賞活動を行う」

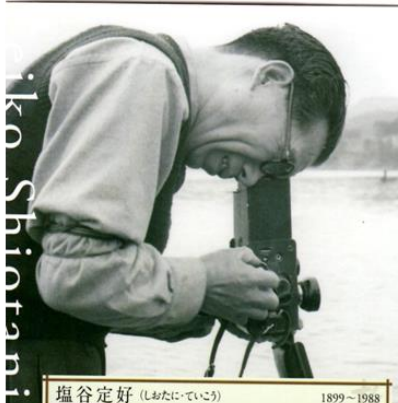
事例1

5月22日(土)「神崎神社」「塩谷定好写真記念館」(琴浦町)での鑑賞活動

神崎神社(宮彫り×壮麗なる数々の彫刻神社)

本殿:県指定保護文化財第1号、拝殿:同第2号

200年近くも潮風に晒されながらも迫力を失わない彫刻作品に飾られた社殿、通り雨に鮮やかさを増す新緑、日本海から吹き上がる風、それらに包まれながら地域愛に溢れたボランティアの解説を聞く。五感をフル活用した鑑賞は快い体験だった。



塩谷定好写真記念館 (国登録有形文化財)

定好自らが、近所の人達を撮影していたモダンなスタジオ、各部屋の床の間に飾られた数々の定好作品や愛用品などを鑑賞した。

定好の直弟子である山根さんに、県内の写真仲間が集い、時間を忘れるほどに熱い写真談議が交わされたときのエピソードを聞くことができた。

「毎回30人程が集まり、部屋の入り口で持参した作品の予備審査を受け選ばれた写真が定好の前に並べられその評を聞く。口調はいつも穏やかで『作品には詩情と品格がなければいけない』といつも話された。

草木や霧や光にまでも心を通わせながら狙いに合うタイミングを待ち続けてシャッターをきる。奥様を助手に蔵内で現像を行うと定好独特の「セピアカラー」の作品がうまれる。高潔な人間性が作品を通して感じられ、作品は半世紀経った今も新しい。」



6月12日開催の研修会「国造焼4代目山本佳晴さんの窯元」の詳細は次号で!

後方支援チーム



館内イメージ：展望テラスに隣接する特別展示コーナー
© 横総合計画事務所

<本年度の活動目標>

県民のみなさまに美術館に関心を持っていただけることを目指して活動をしています。ボランティアメンバーの募集やチラシ、ポスター、美術館発行の広報誌の発送作業の他にホームページを使ったアンケートで「こんな美術館にしたい、美術館の役割、美術館に期待すること」などの意見を募り、美術館の建設・管理・運営事業者である「鳥取県立美術館パートナーズ」へ届けます。

<本年度の取り組み>

本年度は特に次のような活動を行います。

- 美術館の宣伝活動の計画
- チラシ、ポスター、美術館発行の美術館ニュースの発送作業の補助
- ボランティアメンバーの募集

環境チーム

<本年度の活動目標>

環境チームは、美術館の周辺整備、環境づくり、生け花活用などを通して、「水と緑と文化の町」の美術館づくりを進めていきます。そして、日本中に、世界中にアピールしていきたいと思っています。

<本年度の取り組み>

「水と緑と文化の町」の美術館づくりを目指して

- 彩り豊かな鳥取らしい「ひろま」演出を、生け花などを通して考える
- 大御堂廃寺跡についての講演会パート2を企画する

<チームからのメッセージ>

昨年は、全国でも珍しい国指定史跡に隣接して建設される鳥取県立美術館の立地環境を生かして、応援団としてどのような活動が出来るのかを考えようと、講師に根鈴智津子氏（倉吉市教育委員会文化財課専門員）をお招きし、「大御堂廃寺」についての講演会を11月22日に開催しました。会場の上灘公民館には、60人もの参加者があり、皆さんは根鈴氏のお話に引き込まれ、当時（7世紀～11世紀）の寺院の姿やくらしの様子に思いを巡らせながら、新しくできる「美術館の誕生」に夢をふくらませました。

たいへん好評でしたので、魅力いっぱいの「大御堂廃寺」をさらに知るために、本年度講演会第2弾を下記のように企画しました。みなさん、ぜひご参加ください。一般県民の方も大歓迎です。

「感じる！伝える！！山陰が誇る大伽藍と仏教文化 ～史跡 大御堂廃寺跡の整備基本計画～」

講 師： 倉吉市教育委員会事務局 文化財課課長 藤井 貴男 氏
 文化財課主任 山増 諭美子氏
日 時： 令和3年7月18日(日)午後2時～3時30分
会 場： 上灘コミュニティセンター(倉吉市上灘町9番地1 TEL 22-0640)
参加費： 無 料
連絡先： メールアドレス tottoriartoendan@gmail.com まで

美術館整備局長 からの 応援メッセージ

「とっとり県美応援団」の皆さま方には、平成29年に島根県的美術館を支えるボランティア活動を視察されるなど、早くから県立美術館に関心を寄せてくださり有難く思っております。

鳥取県立美術館は、設計・建設・運営を担う鳥取県立美術館パートナーズ株式会社と共に設計を進めており、今度の年明けにはいよいよ着工に至る予定です。
また、並行してボランティアを含めた県立美術館の運営の仕方も検討を進めています。

建物の姿が見えてくれば、県民の方々の美術館に寄せる関心も更に広がり高まっていくと思います。
「とっとり県美応援団」の皆さまには、県立美術館と共に生きがいを見つけていくモデルとなられて、「私たちの県立美術館」を一緒に実現していけることを楽しみにしております。

鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局長 梅田 雅彦

広報チーム

主に「とっとり県美応援団」の会員以外の人に向けて、当ニュースレターやホームページその他電子媒体を使って鳥取県立美術館開館の進捗状況や近況、応援団活動の内容を広く知ってもらい、中部地区から県全体に応援の気運を盛り上げていきます。

(イベントレポート)

とっとり県美応援団総会 4月25日(日) 倉吉市上灘コミュニティセンターにて

令和3年度会員総会を開催しました。今年は日本海新聞の記事にも掲載されましたが、当応援団の仲間から中部地区から全県へ広げることを目指し、昨年の実績報告とこれからの活動計画の協議がなされました。
総会後には美術館の設計を担当している楨総合計画事務所の長谷川取締役副所長による「鳥取県立美術館に向けてー建築の公共性についてー」の講演会を開催。これまでの国内外建築プロジェクトの設計の考え方や鳥取県立美術館の設計に込められた想いを質疑応答を交えて分かりやすく解説いただきました。

⇒ イベントの詳細は [鳥取県美術館整備局ホームページにて!](#)

県立美術館説明会 (北栄町文化団体連絡協議会主催) 5月24日(月) 北栄町中央公民館にて

美術館整備局の梅田局長による説明、パートナーズ業務責任者の和田さんから映像での説明がありました。質問もたくさん出て、とても関心が強いことが伺えました。約50名の参加があり、「聞かたびにワクワクしてきます」
「ユニバーサルデザインの対応が気になっていたが、意見を参考にしていくとのことで安心した」などの感想がありました。



とっとり県美応援団 会員募集

一緒に楽しみながら県立美術館を応援してくださる仲間を募集しています。
以下のような方々はぜひご検討ください!

- アートが好き(鑑賞する、描く、創る、撮る etc.)
- 地域を盛り上げたい
- ボランティアに興味がある
- 多くの人と交流を深めたい
- 視野を広げたい、新しいことにチャレンジしたい

<年会費>

個人会員:1,000円/年 団体会員:2,000円/年

<入会申込・お問い合わせ>

とっとり県美応援団 下記連絡先まで

応援団会員向け 秋の視察研修 (期日未定)

大原美術館(倉敷市) & 高梁市成羽美術館

大型貸切バスで巡るランチ付の日帰り
視察研修旅行を企画中です(会員限定)

ニュースレター「び〜さぽ」

Be Supporters! (応援団になって!) と
私たち応援団員=けんび・サポーター
の2つの意味を持っています

「とっとり県美応援団」ニュースレター 第1号 2021年7月1日 発行

<発行者> とっとり県美応援団

〒689-2501 東伯郡琴浦町赤碕400-6

佐伯健二方 電話 090-8719-8531

公式メールアドレス: tottoriaritoendan@gmail.com

応援団公式ホームページもリニューアル準備中!